

緑化だより

No.44 平成21年11月号



オオモミジの紅葉 平成20年11月12日撮影

- 虹色きのこ
- 植物と歴史
- 花だより

- 研修会・イベント報告
- 研修会・イベント紹介
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



虹色きのこ

(7) 紫色

七色の虹のようにきのこも美しい色合いのものがあります。

オオムラサキアンズタケ(大紫杏茸)

全体が鮮やかな紫色を帯び、傘の縁部は波打ちます。大型になり群生することもあるので大収穫になることがあります。“みみたけ”とか“ききょうなば”とか呼ばれ、道の駅などで売られています。食用。

ムラサキアブラシメジモドキ(紫油占地擬)

全体が紫色で傘も柄も粘性があります。乾いていても落ち葉のかげらなどがこびりついていれば粘性があった証拠です。群生することがあるのでたくさん収穫できることがあります。色が気持ち悪いと言われる人もおられますが、優秀な食用菌です。

ムラサキフウセンタケ(紫風船茸)

全体が暗紫色で、上記の種と違って粘性はありません。傘の表面は細かいささくれに密に覆われます。食用ですが、粉っぽい臭みと苦味があり、一般的な食用菌ではありません。



オオムラサキアンズタケ



ムラサキアブラシメジモドキ



ムラサキフウセンタケ

植物と歴史

『被子植物の繁栄』

シダや裸子植物の繁栄の後、花を進化させて昆虫や鳥類を利用して種子散布を行う被子植物(ひしよくぶつ、Angiospermae、Magnoliophyta、Angiosperm)が生まれました。

被子植物とは、一般に花と呼ばれる生殖器官の特殊化が進み、胚珠が心皮にくるまれて子房の中に収まったものを言います。心皮が発育して果実となります。現在約 400 科、25 万～30 万種があると言われ、最も繁栄している植物群です。

被子植物の存在していた確実な証拠は、古くは白亜紀の初め約 1 億 3000 万年前の花粉化石で、色々なものがありますが、アキラポレニテスの花粉が多く見つかっています。

ちなみに、上陸した植物は、茎から葉を進化させ、葉から花を進化させて現在の植物の形を長い時間をかけて造り上げています。また、今はキノコの季節ですが、キノコは微生物、つまり地上植物の 90%以上が菌根菌と共生して生きていると言われていています。前号にも記しましたが植物が陸に上がり生活できたのも、菌根菌が共生して助けたためだろうと考えられています。

このように植物は自ら進化を繰り返し、また、微生物と共生し地上のあらゆる環境に適応してきました。気象や災害(洪水など)、動物や昆虫などどうまく付き合いながら子孫を増やし進化を続けています。

花だより

フユザクラ バラ科サクラ属

春と言えば『桜』、桜と言えば『春』と言うぐらい、桜は春の花として認知されていますが、春以外に咲く桜も植栽されるようになっています。緑化センター内には、**ジュウガツザクラ・フユザクラ**とありますが、その他、**ヒマラヤザクラ・シキザクラ**などがあります。現在サクラの種類は、400種類以上とも言われ、分類や品種は多岐にわたり、地域で受け継がれている品種もあります。

秋～冬に咲く桜は、春に比べて花が小さかったり、数が少なかったりと見ごたえという点では劣りますが、紅葉と一緒に見られる、咲いている期間が長い、季節外れに咲く桜ということで話題になることもあり、観光名所になっている場所もあります。

冬桜は、その名のとおり、秋から冬に掛けて咲き、その後もポツポツと咲きながら、春になると再び開花するという種類です。花卉が5枚の

一重咲きで、春の花卉は先端に切れ込みがあるのですが、冬の花弁は切れ込みがなく、逆に突形になります。葉は小型であり、別名**コバザクラ**とも言われています。成葉や萼筒の形などから、片親はマメザクラと言われており、もう一方はヤマザクラとする説とサトザクラとする説があります。

おにし
群馬県藤岡市(旧鬼石町)の桜山公園は、「三波川(サクラ)」として国の名勝および天然記念物に指定され、現在山の斜面には、7000本もの冬桜が植えられています。



冬桜 平成18年10月31日撮影



冬桜



桜山公園—藤岡市ホームページより

研修会・イベント報告

10月10日(土)～18日(日) 『きのこ祭り』

今年初めて『きのこ祭り』を開催しました。期間中、きのこの研修会を3回行い、期間内には、**きのこクイズ**と**きのこ汁(スープ)**のサービスを行ないました。

きのこクイズは、きのこに関する5つのクイズに答えてもらい、景品はきのこの絵葉書でした。また、レストハウスで食事をした方に、きのこ汁(スープ)の無料サービスを行ないました。数量限定だったので、お昼時間を過ぎるころには、品切れになりました。

きのこに関する3つの研修会には、延べ267人と多くの方が参加され、きのこ好きな方やきのこ初心者の方など満喫して頂いたのではないのでしょうか。『野生きのこ料理教室』では、野生きのこを使用した4つの料理方法を紹介しました。使用したきのこは、**ハタケシメジ・ムラサキアブラシメジモドキ・ナラタケ**等6種類のきのこでした。

きのこの鑑定については、いつでも受付けていますので、管理事務所までご連絡下さい。



研修会:野生きのこ料理教室

研修会・イベント紹介

- 11月1日(日)～11月23日(祝・月) 『もみじ祭り』
- 11月3日(祝・火) 『みんなで紅葉を楽しもう』 広島市森林公園共催イベント
レストハウス周辺でイベントを開催します(10時～14時30分)。(詳細は別紙のとおり)
- 11月5日(木) 『秋の植物観察』 10:00～12:00 学習室集合
講師:森林インストラクター 駄賀 恒男 先生
紅葉を中心に秋の植物を観察しましょう。
- 11月12日(木) 『秋の写真教室』 10:00～12:00 学習室 カメラ持参
講師:二科会会友 宗岡 泰昭 先生
紅葉を上手に撮影する方法を学習します。屋内で説明した後、外に出て園内の紅葉を撮影しながらの実技指導もあります。
- 11月13日(金) 『11月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合
講師:広島大学名誉教授 石橋 昇 先生
紅葉を見ながら、県木の森からハナノキの道を歩き、東山作業路を經由して薬草園に下ります。
- 11月14日(土) 『藤ヶ丸山もみじ狩りハイキング』 9:00～13:00 第5駐車場集合
お申込は、往復葉書で広島市森林公園まで(別紙のとおり)、先着50名
- 11月15日(日) 『親子で落ち葉遊び』 10:00～12:00 学習室
講師:広島市ネイチャーゲームの会 住吉 和子 先生
落ち葉を使って色々な遊びを行ないます。親子で、お孫さんと、大人だけ…どなたでもご参加できます。自然の素材を使って楽しく遊んでみませんか。
- 11月23日(祝・月) 『どんぐりクッキング』 10:00～12:00 学習室
要予約 先着30名 材料費¥200 講師:料理研究家 金本 久子 先生

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 『もみじ祭り』開催

11月1日(日)～11月23日(祝・月)は、『もみじ祭り』を開催します。期間中、イベントや様々な研修会、クイズラリーの他、レストハウスではきのこや栗の季節の御飯の販売、ゆで卵のサービス(2日、12日、22日)などあります。15日には篠笛の演奏を行う予定です。

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

- きのこ写真と本物のきのこ展 ～11月3日(火・祝)迄
- 私の好きな写真展 11月6日(金)～12月6日(日)
写真愛好家が撮影したベストショット写真の展示
- 木の実・木の枝を使った工作展 ～11月15日(日)迄
- 冬のバードカービング展 11月19日(木)～平成22年2月28日(日)

◎ 秋の写真コンクールを開催しています

写真コンクールの応募受付は、12月4日(金)迄です。緑化センター内で撮影された写真に限ります。1人3枚まで応募できます。12月6日(日)の『冬の写真教室』で公開審査と講評を行ないます。

◎ 研修会の予約受付について

12月4日(金)の「クリスマスリース作り」、12月23日(祝・水)の「注連縄作り」の参加予約は、11月1日から受け付けいたします。予約がいっぱいになり次第、受け付けは終了いたします。